



©kembuchi town

けんぶつ

議会だより



No.134

2021年5月発行
(令和3年)

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-26-9020（直通）
<http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

| | |
|-----------------|-------|
| 令和3年度予算決まる | 2～5 |
| 予算特別委員会質疑 | 6～8 |
| 第1回臨時会・第1回定例会 | 9 |
| 一般質問 3名が登壇 | 10～12 |
| 特集 商工会青年部に聞きました | 13 |
| みんなの声がまちづくり | 14 |

学校ICT化 一気に加速

GIGAスクール推進に伴い整備された1人1台端末などのICT機器を効果的に活用した授業を進めるための環境を整えます。
(関連質疑8ページ)

215万円

学校情報教育機器
維持管理事業

先端技術の活 用へ で農業を未来

農作業の省力化、効率化、作業負担軽減のため、アシストスーツ、GPSガイダンスなどの購入助成、ドローン免許費用助成を行います。



200万円

スマート農業促進
支援事業助成金

子育て 支援を拡充

妊娠期から子育て期にわたり母子保健と子育て支援が一体となり関係機関と連携し切れ目ない支援を行います。
(関連質疑7ページ)

352万円

子育て世代包括支援
センター開設

近隣からの 生徒増に期待

剣淵高校に新たに未来のしんろ系列を設けます。また、近隣から通学する生徒に対しJR定期券の半額助成を行います。

162万円

高等学校生徒
通学費補助金

令和3年度 ことし のしごと ピックアップ。

※金額は2月16日時点のものです

地域への定住 を願って



観光、まちなかにぎわいづくり、レーキサイドへ新規に3名を募集し、継続とあわせて計7名となる予定です。様々な地域活動を行いながら地域への定着を図ります。
(関連質疑7ページ)

2269万円

地域おこし協力隊事業

新型コロナ ウイルス対策

国が示すワクチン接種の優先順位を踏まえ、最初に75才以上の方を対象に順次接種を行います。

904万円

新型コロナウイルス
ワクチン接種業務

除雪困難者を サポート

条件を満たした世帯を対象に従来の除雪サービスで対応できない一戸建て住宅の広範囲の除雪、屋根の雪下ろしを支援します。

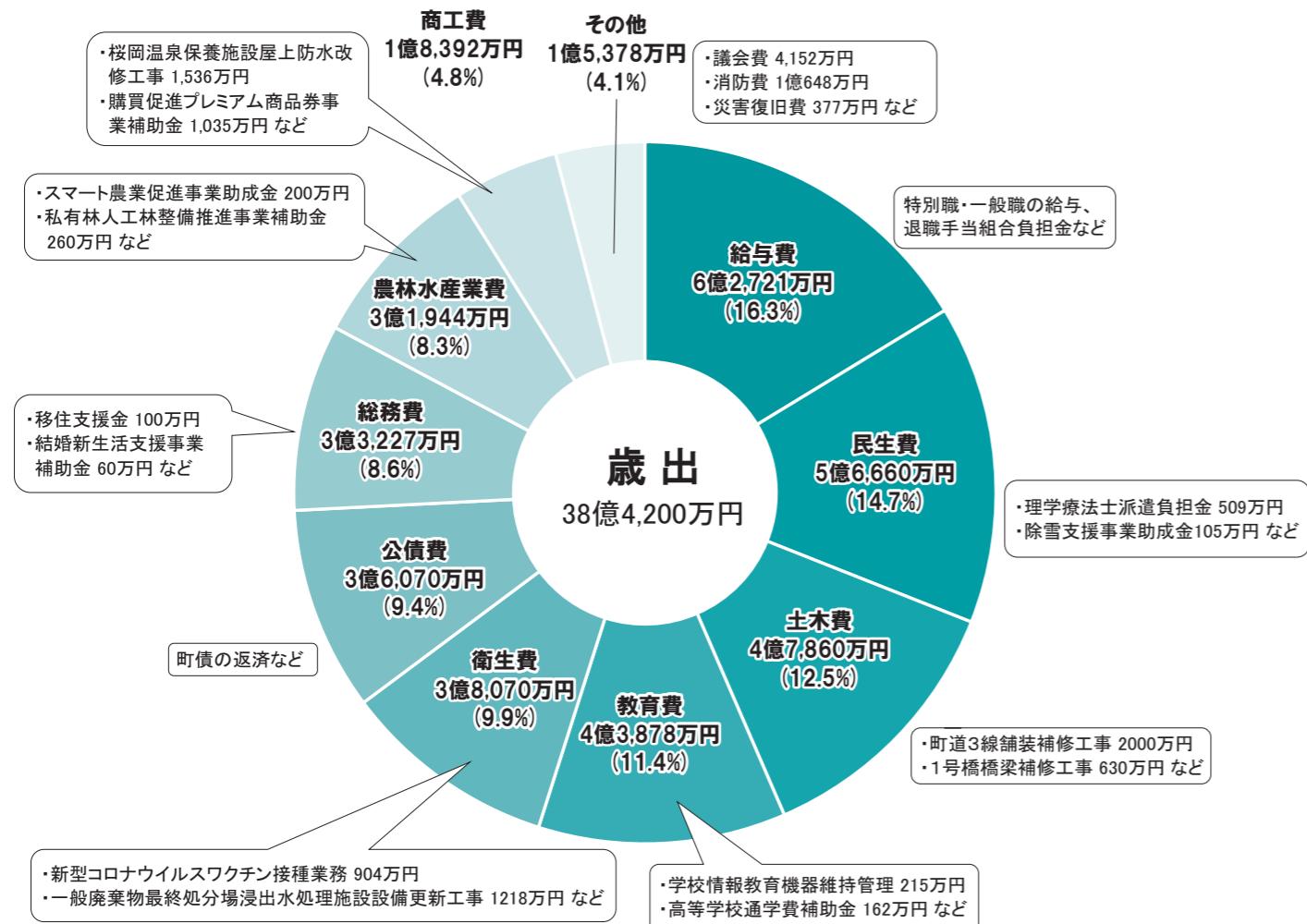
105万円

除雪支援事業助成金

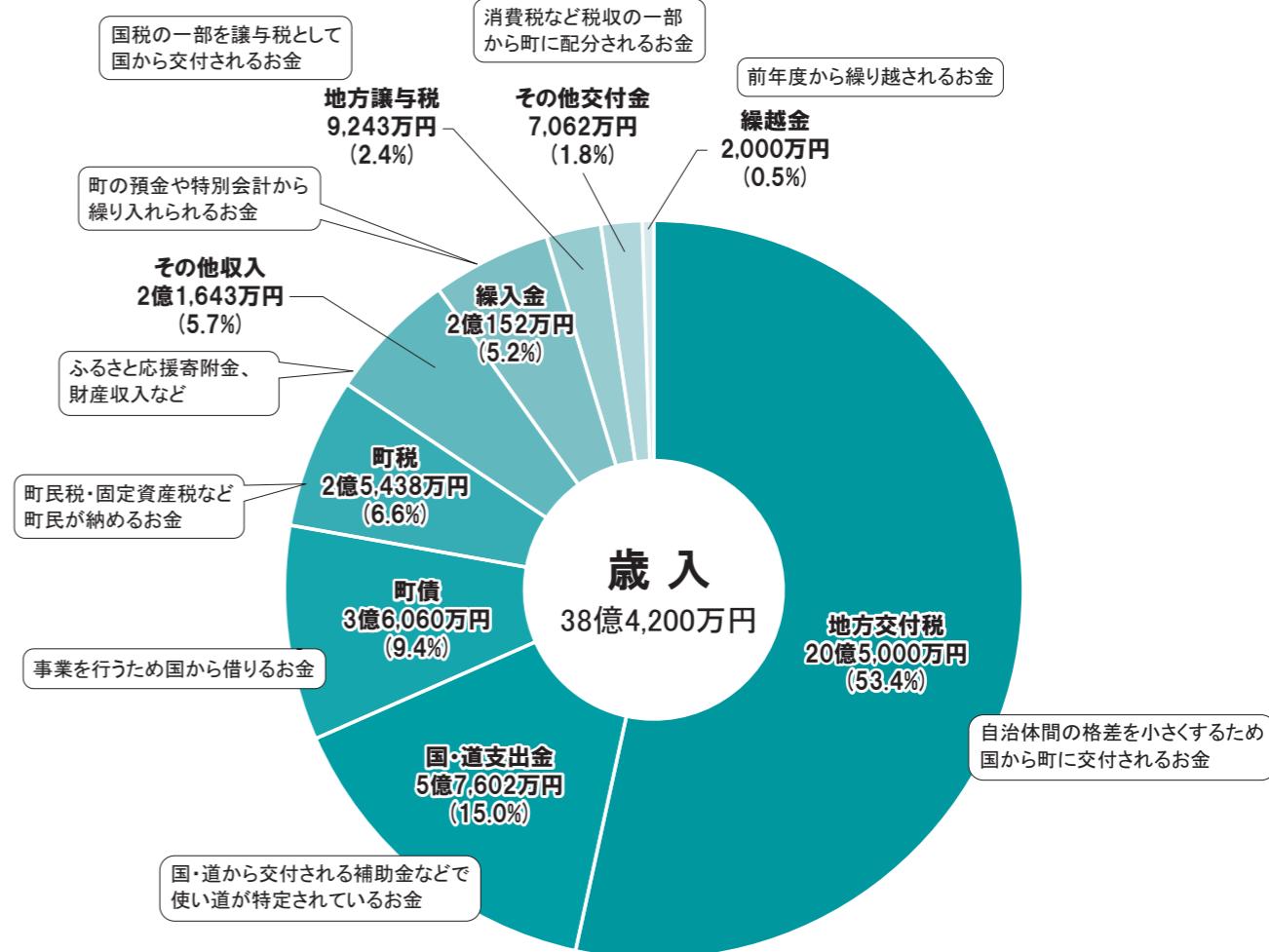
令和
3年度

町民のくらしを支える予算

理学療法士の通年派遣が実現



各種団体補助金を3年間で段階的に15%削減



今まで以上に高齢者の介護予防の取り組みが充実すると期待されます。

これまで以上の実施事業や戸別訪問を通じて、理学療法士の通年派遣が実現します。地域包括支援センターでの実施事業や、高齢者への介護予防の取り組みが充実すると期待されます。

介護予防の充実へ



| 会計名 | 予算額 | 前年比 |
|-------------|-----------|-----------|
| 一般会計 | 38億4200万円 | 1億4000万円減 |
| 特別会計 | | |
| 国民健康保険事業 | 5億7880万円 | 40万円減 |
| 国民健康保険町立診療所 | 1億1020万円 | 1920万円増 |
| 後期高齢者医療 | 6110万円 | 40万円減 |
| 介護保険事業 | 4億6470万円 | 1280万円減 |
| 簡易水道事業 | 1億1750万円 | 320万円減 |
| 下水道事業 | 2億5910万円 | 5880万円減 |
| 総額 | 54億3340万円 | 1億9640万円減 |

今年度は、各種事業の縮小や補助金の削減をはじめ、ごみ収集では一部有料化が実施されますが、住民サービスと福祉の低下にならないよう配慮し、限られた財源の中、官民一体となり一人ひとりが知恵を絞り、厳しい時代の中でも当町が発展していくことを期待します。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響でイベントや事業などが中止・縮小されました。本年においても感染対策はもちろん、イベントや事業内容を見直し町民の不安解消に努力していただきたい。

令和3年度

委員長 島山 弘美

令和3年度 予算審査特別委員会

特別委員会での質疑の概要を掲載します。



絵本の館の入館料

生出委員

絵本の館は図書館の規模が小さく、ホールでは多目的な行事を行っている。入館料をもらうことを考えるべきではないか。

半田教育長

絵本の館は図書館としての学習施設であり、美術館的な要素や地域活性化の要素もある。図書館利用者には、広く多くの人に利用していただきため、無料の流れを大切にしたい。観光的な要素で訪れる方などには若干の利用料をもらう方法もあると思うが、今後の検討課題である。

マイナンバーカード

卯城委員

今後、マイナンバーカードが必要なものとなってくる。町の行政改革や国との関係も合理的になると考えれば進めるべきと思うがどうか。

早坂町長

セキュリティ面での不安もあるが、町としては推進していく方向であり啓発を行っていきたい。

され、町内では市街地域も膝まで水に浸かるのではないかと想定される。明日かもしれないし、99年先かもしれないし、99対策をしていいきたい。

道の駅を一時避難所に

岡委員

道の駅が一時避難所になるとのことだが、建物は町が管理し、駐車場などは国が管理をしている。住民の誘導や、避難所運営はスムーズに行われるのか。

長谷川総務課係長

旭川開発建設部からは道の駅を防災拠点として取組みを進めないかという話があり、協力を得たうえで進めていくと考えている。東町、藤本町方面の避難所と同時に観光客の避難も考えていいきたい。

ハザードマップ

卯城委員

ハザードマップを従来の50年に一度の災害想定から千年に一度に変更することだが、現実的ではない数字を町民がどう捉えたらいいのか。

早坂町長

防災計画、ハザードマップは最大の数値を考えて作成している。地球温暖化がこのまま進めば24時間降水量500mmに近い数字が出

れた評価ができるよう活用していただきたい。

移住定住対策

佐藤委員

施政方針の中で移住定住対策として、空き地・空き家の問題を含め町民日線を加えて協働のまちづくりプロジェクト会議を設けるとしているが、スケジュールとメンバー構成は、子育てをしている若手にも加わって欲しいがどうか。

佐藤総務課長補佐

年度開始早々に立ち上げを行い、移住定住に関して、空き地・空き家対策を含めた中で町としてどのような対策が相応しいのかを協議してみたい。メンバーは移住定住された方を中心にして、生の声を聽ける組織を考えていね。

人事評価システム

酒井委員

評価対象の職員は、出た結果をどのように反映させるのか。

精進総務課長

正職員と、最大限を考えると会計年度任用職員も対象となる。システムを使った中でバランスの取

レーワークサイド桜岡にある移住促進室は利用がなく、施設自体をワーキングホリデーなどに活用しているとのことだが、協働のまちづくりプロジェクト会議などで意見を聴きながら活用方法を探して有効利用してもらいたいがどうか。

予算審査特別委員会

精進総務課長

現在、利用実績はない。活用方法について課題もあるため、町づくり観光課とも連携しながら研究検討していきたい。

地域おこし協力隊

岡委員

町内にはたくさん課題があるが、今後、都会の若者のスキルと町内の課題とのマッチングを通して課題解決することが重要と思うがどうか。

佐藤総務課長補佐

町の課題に対して地域おこし協力隊の能力を活用できることが一番望ましい。マッチングの必要性は感じているが、3年後にどう収入を得て生活していくのが課題で、研究しながら進めていきたい。



元協力隊が町内で起業

子育て包括支援センター

高橋（毅）委員

保護者の抱えている困りごとを連携し解決していくことが大きな目標だと思うが、地域に開かれて見える形にしていく必要があるのではないか。

萩尾住民課長

地域と手を携えて、課題を共有する機会をつくりながら、支援センターの取組みを進めて行きたい。

広報周知

島山（真）委員

町で新聞折り込みチラシを通して広報することがあるが、新聞をとらない人への対応を考えているのか。

精進総務課長

新聞を取りらない家庭が増えている。自治会を通じて同様の広報紙を回覧して対応している。

酒井委員

土別に委託できなくなるとのことで、どのような理由か。北斗会の力を借りて今の形を継続していくことが良いのではないか。

高橋（一）委員

担い手対策先進地視察として富良野市で行われる研修に参加することだが、目的と今後どうに活かしていくのか。

板東農業委員会事務局長

新規参入者や農業体験者などを受け入れている施設で、新規参入者に対する研修内容などについて学んでくる。町の新規参入の方について、担い手育成センターで協議していきたい。

高橋（毅）委員

農業者が高齢化してきて農家をやめたいという方と、受け皿となる担い手、耕作放棄地や遊休農地についてどう考えているか。

原農林課係長

キヌア認知度向上・用途研究業務の進み具合は、スーパーフードをどのようにPRできるか町民一体となつて探つてもらいたいがどうか。

大澤健康福祉課主査

平成30年から障害福祉に関する相談支援の中核的な役割として1市2町で展開してきたが、コロナの影響もあり事業と予算の見直しが行われ、職員の負担が大きく委託が受けられないとのこと。本町では、西原の里地域支援センターで令和元年度から身体・知的・精神障害に対応した相談支援を行つてあり、大きな影響はないと考えている。

板東農業委員会事務局長

今年、農地を手放し離農につながるのは現在11件、この後8件余り予定があり、50ヘクタールほどである。今後も農家戸数が減り続けければ耕作放棄地や遊休農地が出てくる懸念もある。今は年間5、6件ほど親元就農の新規就農者はいるが、それだけでは農家戸数が減り続けることから新規参入に関する研修を行つていただきたい。

キヌア認知度向上

佐藤委員



大手スーパーで販売中

板東農業委員会事務局長

をもつたイベントを開催し、概ね好評と聞いている。キヌアは知つていても食べ方や調理方法が分からぬとの声もあることからさらなる活用に向け努めたい。

オートキャンプ場



キャンプブーム到来

生出委員
全國的にキャンプが人気だが、冬もキャンプ場を開放して楽しんでもらってはどうか。極寒のキャンプを体験することと、閉鎖された高台のパークゴルフ場をスキー やそり滑りに活用してはどうか。

穴戸町づくり観光課長
現状クロスカントリーの練習コースとしてキャンプ場周辺を使用していることから棲み分けが難しいことと、キャンプ場のサイトを冬キャンプに使えるものなのか、特別な設備とか対応が必要ないの

か研究したい。高台のパークゴルフ場跡地の活用は体験観光のメニューとして取り組めると考えている。

公営住宅建て替え

大澤委員
新しい設計の公営住宅は建設費が1棟5戸で1億6000万円にもなっている。様々な間取りがあるが、現在古い公営住宅に住んでいる人たちの住み替え想定であれば、間取りを見直すなど費用をあさえ、その分を若者夫婦が住める住宅環境整備に回すなど検討していくべきではないか。

杉村建設課長
1号棟から5号棟までは一戸あたり2000万円程であったが、今は3000万円近くなっている。内容は違うが建設費をなるべく抑えるようにいろいろな検討をしていきたい。

岡委員
タブレットは紙の教科書と一緒にデジタルの教科書として活用していくことに加え、持ち帰つて家

高橋（一）委員
高等学校の農場は一定の面積があり、多くの機械等々が古いことや摩耗したりでかなり傷んできていることから、機械の導入も考

庭学習を行うことで効果を發揮する。家庭においてはスマホやテレビ、ゲームの時間が長くなり家庭学習の時間が短くなる傾向もみられることからも、家庭に持ち帰つて使うということに対しても考えていくのか。

教育用タブレット

金村教育課長
タブレットの活用方法は学校で考へている。タブレットの持ち帰りは、令和4年に全町に光回線が行き渡る予定であり、これに併せてどう進めていくかこれから検討になる。

高橋（毅）委員
特定健診の受診率が2年連続全国1位となり、特別交付金がきてることで国保会計の改善に有効といふことの町民のPRが必要だと思うがどうか。

前田住民課主幹
保険事業の取組の状況に応じて、評価されて交付金が配分され、増加傾向にある。しかし、所得水準や医療費水準が全道平均よりも高い状況から納付金に加算され、国民健康保険会計としてはなお不足が生じている。受診率を維持できるように受診しやすい環境づくりなど健康福祉課と連携しながらPR含め推進していきたい。

ていかなければならぬのではないか。
中上高等学校事務長
農場機械、施設設備についてはかなり老朽化している状況にあり、現場からはいろいろな要望が出されているが、高額なものばかりで見送っている。今後計画的に更新していくように課題の整理を進めていきたい。

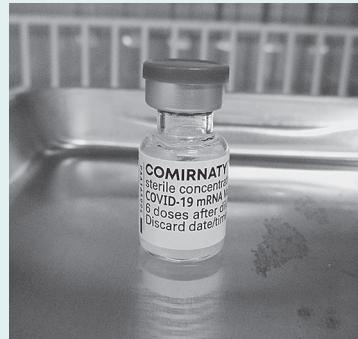
2021.5 Vol.134 8

第1回 臨時会

2/4

一般会計と診療所特別会計補正予算の審議を行い原案どおり可決したほか、専決処分の報告がありました。

補正予算



●一般会計に401万円を追加しました。
主な内容は、新型コロナウイルスワクチン接種業務に319万円。ワクチン接種費用は全額国費でまかなわれます。今回の補正是令和2年度分であり、4月以降の経費は新年度予算に計上されます。

ワクチン接種に向け準備始まる

●固定資産評価審査委員会委員



二階堂敏子さん(再任)
仲町
任期 令和3年6月25日～
令和6年6月24日

人事案件に同意

●長寿祝金支給条例の一部改正
内容は喜寿祝金を1万円に改正しました。なお米寿、白寿祝金に変更はありません。

長寿祝金の一部が減額となる

●町長から提出された議案(新年度予算関連議案は予算特別委員会に付託)は、条例の一部改正や廃止・人事案件などを審議しました。また、各会計補正予算も提案され、本定例会に出された議題は原案どおり全て可決しました。

教育行政執行方針の表明がありました。一般質問には3名が登壇。町長から提出された議案(新年度予算関連議案は予算特別委員会に付託)は、条例の一部改正や廃止・人事案件などを審議しました。また、各会計補正予算も提案され、本定例会に出された議題は原案どおり全て可決しました。

条例改正

令和3年度各会計予算は、予算特別委員会に付託され、特別委員会の報告どおり原案可決されました。

賛成討論

●酒井修委員
農業分野ではスマート農業促進のための助成金が継続され、これから農業対策として期待し、キヌア栽培ではブランド化事業としてさらなる知名度アップを目指していただきたい。教育分野では剣淵高校に未来のしんる系列を設け今後の人材育成、生徒募集に努力をお願いしたい。福祉分野では、理学療法士の派遣を受け活躍が期待される。レーキサイド桜岡、学校施設の老朽化が進み改修費用がかかるんでいる状況で早めの対応が必要であり、今後地方交付税の減額が想定される中では抜本的な改革が必要になつてくる。剣淵町を未来に残すために、全職員一丸となつて経費の削減に取り組んでいただきたい。

予算特別委員会

3/8-11

予算

3基金に2億2377万円を積立てる

補正予算

●一般会計の歳入歳出にそれぞれ4357万円を追加し、予算総額を49億3455万円としました。今回の補正予算はコロナウイルス感染症の影響で各種事業未執行による不用額を中心にいました。内容は財政調整基金に8777万円、減債基金に8800万円、公共施設整備基金に4800万円を積み立てます。そのほか粗大ゴミの処理量などが増えたため、清掃総務費に219万円、例年より積雪が多く除排雪対策に1563万円を加えるものです。





問

粗大ごみの有料化に伴う対応は

答

券売機での支払い、高額な場合後日納付も可能

高橋 毅 議員

高橋 毅 議員

粗大ごみを今年4月より有料化し、粗大ごみの減量化と、リサイクルの推進、公平性を確保するとしているが、処理費用を自動券売機で支払うことが困難なときの対応策はどうか。また、今回の粗大ごみの有料化による減量化と最終処分場の満了時期の見通しはどうなっているか。

早坂 町長

粗大ごみの処理手数料は自動券売機での支払いを原則とする。有料化によって粗大ごみの出し方を含め「ごみのしおり」を「みかれンダー」とあわせ自治会回覧で配布予定である。大量の粗大ごみが持ち込まれた場合や処理手数料の持ち合わせがない場合には、氏名・連絡先を確認し納付書を送付し、役場会計課で支払いをしてもらう。最終処分場の埋め立て可能期間は残余約4年半を想定し、令和7年7月頃までの使用を予定している。昨年の一般ごみの組成調査では資源ごみ等が多く混在している状況であり分別を適切に行うことでも、埋立量を減らすことができ、残余年数が伸びることにつながるものと考えている。

光回線整備と設置者への助成は

高橋 議員

光回線整備事業の3月までの設置希望戸数と個人負担分に対する町の助成は。また、整備スケジュールとワーケーション、サテライトオフィスの可能性についてどう考えるか。

高橋 町長

現在、NTT東日本が主体事業者となり当該整備事業を進めていける状況で、整備にあたり200回線の新規加入の要望を受けている。未整備地区の光回線加入の希望調査実施では全体の約34%の175戸となり臨時交付金を活用し、初期工事と無線ルーターの設置費用



お支払いは券売機で

新型コロナウイルスワクチン接種は

高橋 議員

ワクチン接種の体制づくりを進めていると思うが、高齢者への接種券の発送、問診・接種・事後観察など人の流れや、誘導のシミュレーションが必要と思うが接種時期と課題についての考えは。

高橋 町長

診療所では個別接種を行い1日約30～60人、健康センターでは集団接種で1日150～180人を予定しており、福祉施設などへは訪問接種を想定している。また、森山病院からの人員支援も可能だと同意を得ている。副反応の対応も含めて準備をしているが、いざにしろ・国・道とも十分協議しながら体制を整えていきたい。

に1戸あたり1万円を上限に助成を考えている。整備スケジュールは光ケーブル敷設が令和4年2月までの工事予定となっている。テレワーク・サテライトオフィスについては光回線が全町をカバーすることで可能性はあるが、今後企業とのマッチングと誘致、拠点となる場所などを検討していく。



問

ふるさと納税の推進体制を強化すべきでは

答

どのように改善できるかを考えていきたい

大澤秀明 議員

大澤秀明 議員

多くの事業者が参加しやすい仕組みを推進していきたい。

剣淵町はふるさと納税に関して様々な取組みは行つてきただもの、その寄付額は2020年に出ている資料によると全国1741自治体中、1394番目となつてあり全国トップクラスの後進地である。

これは現在の体制に問題があると感じる。これまで以上に積極的に展開していくためには、専門の部署を配置し、常に民間と情報共有を図り、官・民両方の機運を高めていかなければと思うが、この課題についてどのように取り組んでいくのか。

早坂 町長

全国トップクラスの自治体では、和牛・海産物が扱われている所が多く、窓口となるポータルサイトも多く扱っている。

現在の剣淵町の体制は兼務による2名体制で、寄付の受付や発送依頼などの管理を行い、業務の一部をポータルサイトに委託している。限られた財源と人材を町の重要な課題解決にどのように用いるかを考えたときに、専門の部署を配置することは理想ではあるが現状は難しい。課題解決のため民間との情報共有、協議の場を設け、多

大澤 議員



剣淵町の人気ランキング1位

早坂 町長

返礼品を出している団体に聞くと、寄付者がどのような物を求めているか等の情報を求めている。需要に応えられるよう、返礼品の改良も常に必要とのことである。寄付額が上位の自治体はそれも含めて総合的にサポートする専門業者に委託しているが、それでも今の状況ではこれ以上の成長が難しい。職員数が厳しいのであれば、地域おこし協力隊を配置することも検討すべきである。

町長も和牛・海産物には勝てないと、その都度答弁するが、実際同地域の上川でも下位の方であり町長としてその中で当町の誇れるものをPRしていくということを貫いてほしいが。

空き家解体にかかる費用への補助金を創設しては

大澤 議員

地方は全国的に空き家問題を抱えており、問題解決に取り組む自治体も増えている。本町でも近年空き家が増えてきており、中には倒壊の危険のある建物も出てきている。そこで空き家の解体にかかる費用への補助を創設し、所有者の負担を軽減することで空き家解体への後押しとなり宅地の流動化が進み、定住問題の前進、更には地域住民への不安解消にもつながると思うがどうか。

早坂 町長

上川管内でも10市町村で解体助成があり、助成額平均は30万円となっている。本町でも空き家は増えてきているが、その状況は様々である。解体助成ですべての問題解決には至らないものと考え、国が示す空き家対策推進に関する特別措置法を基に総合的に考えできることから進められるよう研究していきたい。

内部的にもどのように改善できるかを考えていきたい。

問

ボランティア活動への 参加を促す取組を進めては



岡 康照 議員

答

先進的な取組も参考に工夫を重ねたい

岡 康照 議員

本町における社会課題としてさらなる人口減少、少子高齢化が加速し、担い手の減少やコミュニティの希薄化、孤立化が進行している。コロナ後は特に共助の力が弱まることが懸念されることから、コミュニティの維持、活性化のため地域活動に率先して取り組む町民に対してポイント制度を導入するなど、参加を促す取り組みを進めてはどうか。

早坂 町長

人口減少と高齢化が進むにつれ人的資源、労働力が弱まる現実があり、人を基盤とする地域活動等においては特に深刻な課題である。高齢者が住み慣れた町に住み続けるためには地域コミュニティの見守りとささえあいが不可欠となる。本町では地域ごとにサロンサポーターと呼ばれるボランティアを中心としてサロン事業が自主運営されており、地域の孤立を予防する取組みの一つとなっている。また、有償無償ボランティア活動である、ささえ愛事業「ささえ手」の活動も行われており、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターとボランティアセンターが核になりボランティアのコーディ

ネートを行つている。町としては、「ささえ手」を社会福祉協議会と協力して拡大していくことが大切と考えておる、ボランティアポイントの仕組みや先進的な取り組みも参考にしながら、気軽に利用できるよう工夫を重ね、自助・共助・公助の視点を加えた中で町民と一緒にになって考えてみたい。

岡 議員

共助が求められている中でその力が弱まっている。共助は一人ひとりの力であり、その力をどうやって大きなものにしていくか。課題と一inezと人をつなげていく上でコーディネーターの役割が重要。福祉の面だけでなく、地域に幅広く関わってもらいたいが。

早坂 町長

生活支援コーディネーターのアドバイスによって若い方、現役の方の力を必要とする様々な場面で活躍してもらひえればと考えている。

岡 議員

サロンサポーターをはじめ、善意で行われている活動を支える仕組みが必要ではないか。評価されることや社会的役割を与えることなども含め、今後も活動を継続

続していくと思えるような取組みを進めてもらいたいが。

早坂 町長

強制してしまふと抵抗感が出てしまう。時間のかかることかもしれないが、行政として協力できることはやつていきたい。

岡 議員

ポイント制度を活用することで単に報酬になるだけでなく、同時に情報収集ができる次に生かすことができるようになるのでは。例えば、体操教室、健診など健康づくり活動への参加情報を活用、共有することで高齢者の見守りにつながることも考えられる。今まで見えなかつたものを見える化していくことで、重点的に取り組む方向性が見えて効果的に人材を投入できるのでは。

早坂 町長

統計的な数字をとり、分析して事業に活かしていく事は本当に良いことで、非常に可能性の高いことと考えている。コロナの時こそ見極めながら、コミュニティの維持やボランティア活動に関わる部分も積極的に進めていきたい。



地域とのつながりを大切に 楽しみながら町を盛り上げていきたい

たくさんの人が集まる場をつくりたい

これからはeスポーツの時代

①活動について

様々なイベントに参加していますが、中でも年越しイベントが大勢の人々が集まる場に育ってくれたことに一番やりがいを感じました。

②悩みや課題など

町をはじめ町民に私たちの活動をもっと知っていただき、ご協力いただけたらありがたいです。

③これから展望について

これまで各イベントへの参加が活動の中心でしたが、今後はどこもやつてないようなことにも挑戦していかなければならぬと考えています。例えば、eスポーツの環境などを整備して全国に発信していきたいです。

④町に伝えたいこと

U.I.Jターンなどで剣淵に来てくれた若者が住みたいと思える住宅環境整備は必須だと思うので早急な対策を望みます。

若者は町の将来に不安を持っています。今までは将来に向けたまちづくりの形が見えないので、10年20年を見据えたビジョンを明確に示してほしいです。

⑤議会に伝えたいこと

議員が何をしているのかわかりません。日中に傍聴にはなかなか行けないので議会の様子をYouTubeなどネットで動画配信してほしいです。



みんなの声がまちづくり

①剣淵町をどう思いますか？

いろいろな面で住みやすい町だと思います。

昭和54年に転居した当時は人口が5000人以上のまちでしたが、先日3000人を切ってしまいました。人口の減少とともに、町内に活気がなくなっていく寂しさを感じていますが、これからも住み続けたいと思っています。

緑町
こにし ひろゆき
小西弘幸さん



②もし町長になつたら何をしたいですか？

農業と絵本の里を中心に、豊かな自然を生かして町が発展していく取り組みを地道に進めたいと思います。

○基幹産業である農業を特色あるものに。和寒町のカボチャや比布町のイチゴのような取組みで剣淵といえばこれだねと言われる作物を作りたい。

○絵本の里を中心とした観光の展開をのぞみたい。

○国道から遠い市街地なので人の出入りが活発なまちにしたい。

剣淵小学校児童会長
きたがわしお
北川史桜さん



①剣淵町をどう思いますか？

ボランティア活動や、会つたら挨拶を交わすなど、みんなが地域に貢献したり、思いやりを持ちあっている良い町だと思います。

②もし町長になつたら何をしたいですか？

○もっと元気な町をつくり、盛り上げられることをしたい。

○町民が協力し合って生活できるようにしたい。

○子どもと大人が沢山ふれあえるように、公園のとなりに休憩所など気軽に立ち寄れる場所をつくりたい。

○子どもと大人が店を自分で出して、みんなで一緒に楽しめるイベントを開催したい。

前総務課企画財務広報グループ主事



4月1日付けて異動になりました
よろしくお願いします
議会事務局庶務係主任
青山真実

人
事

前議会事務局庶務係長



総務課企画財務広報グループ係長
鴻野彩子



卯城規伊議員は、2月に開催された全国
町村議会議長会総会において、議員として
15年以上在職し功労があったとして表彰さ
れました。

表
彰